

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



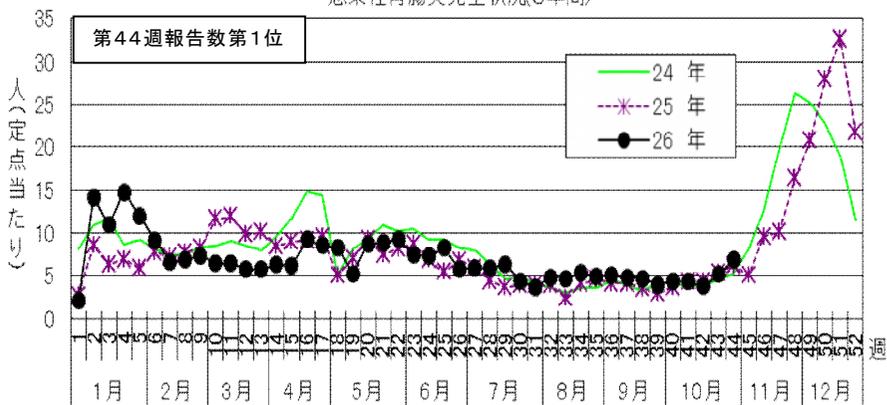
KAWASAKI CITY



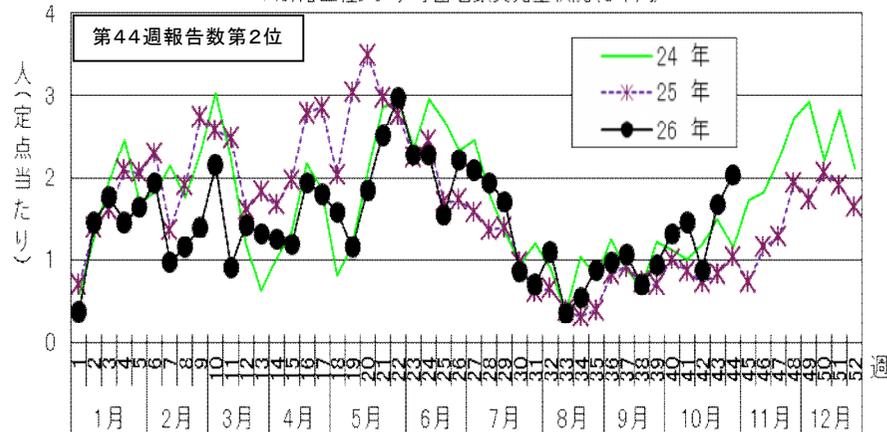
平成26年10月27日（月）～平成26年11月2日（日）〔平成26年第44週〕の感染症発生状況

第44週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.88人と前週（5.15）から増加しましたが、例年とほぼ同じレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.03人と前週（1.67）からほぼ横ばいですが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。  
 水痘の定点当たり患者報告数は0.70人と前週（0.91）からほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## インフルエンザにご注意ください！

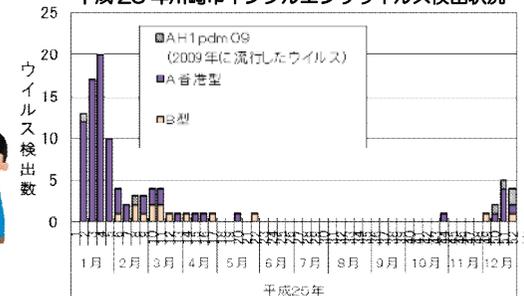
川崎市健康安全研究所では毎年インフルエンザウイルスの型別流行状況を調査しています。今年はすでに、9月末からA香港型及びB型のインフルエンザウイルスが検出されており、例年より早く流行する可能性がありますので、注意が必要です。

### ～インフルエンザにかからないために～

- 1. 流行前のワクチン接種**  
 予防接種を受けてから抵抗力がつくまでに2週間程度かかりますが、持続期間は約5か月間とされています。
- 2. 飛沫感染対策としての咳エチケット**
- 3. 外出後の手洗い等**  
 流水・石鹸による手洗いはウイルスを物理的に除去するために有効な方法です。
- 4. 適度な湿度の保持**  
 加湿器などで適切な湿度（50～60%）を保ちましょう。
- 5. 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取**
- 6. 人混みや繁華街への外出を控える**



平成25年川崎市インフルエンザウイルス検出状況



平成26年川崎市インフルエンザウイルス検出状況

